

教職研究基礎ゼミナール(2年)

岸田ゼミ

わたしたちのゼミを紹介します



「対人関係ゲーム」って？

人と楽しむ経験を積むことにより人とつながり、質の高い集団づくりを実現するカウンセリングの技法です。岸田ゼミでは、この技法について実践をとおして研究しながら学級システムのあり方を学んでいます。人間関係のよい学級集団なら、

いじめも学級崩壊も生まれにくいでしょう。特別活動や生徒指導などに興味を持った人たちが楽しく集っているゼミです。「対人関係ゲーム」を学ぶ11月のゼミの様子をお伝えします。(ゼミ代表)

キャッチ!

「キャ キャ…キャッチ！」で指をつかみます。「キャット！」などでフェイントをかけて攻防を楽しみます。

フレーメンの音楽隊

動物の鳴き声だけで「気持ち」を表現します。



「目の前の苦戦している子どもたちを何とか支援したい」現場にはそんな思いで奮闘する先生方が多いと思います。そんな中で、支援を必要とする子どもたちを支える学級集団の人間関係づくりが欠かせません。

学生はこの「対人関係ゲーム」とおして、人とつながること、人と人をつなげ、人を生かすことの重要性を学んでいます。現場に羽ばたいた学生が、ここで実感した「人とのつながり」の心地よさを広げることによって、子どもたちや教職員にとってこれからの学校がより一層楽しく過ごしやすい場になることを切に願っています。(岸田)

大学生でも心から楽しめる内容のゲームが多いので、小学生ならなおさら楽しんで取り組むのではないかと思います。関係を良くするきっかけとしてはとても効果的で、来年の実習では是非やってみたいと思います。(ゼミ代表 2年 中村 虹太)



児童が自ら学び発見する喜びを体験して



生活科概論 「あきのたくはいびん」

子どもたちの興味・関心はどこにあるのか、どんな活動をしたがっているのだろうか。生活科は、教科書中心ではなく、子どもの実態を教師がしっかりつかむことから学習が始まり、活動や主体的体験から学んでいく明確な答えのない学習活動です。ふと目の前に転がる落ち葉もどんぐりも、子どもたちにとっては宝物。それまで意識していなかった自然の本質がふと顕在化してくる一瞬があり自由な発想で学習が展開されます。「はじめに子ども理解あり」、それはどの教科でもいえることであり、松本大学教育学部では、「教師の仕事は教えること」といった概念から脱却し、具体的かつ実践的に考えることを通して、子どもたちが自ら学ぶときめきや喜びを感じる授業づくりを学んでいます。

教員採用試験対策講座(学内)を開設しています

これまでも、数回の模擬試験を実施してきました。3月には3年生対象の集中講座があります。

- 集中対策講座 3月16日(月)~20日(金) 1限~4限まで 含:3月25日(水)模試
内容: 教職教養(教育原理・教育法規) 人物試験対策 小学校全科 一般教養

受験生対象の「被災学生への支援」について

大規模自然災害などの被災学生に対して、特別支援制度を設けています。
本学を受験される高校生で該当となる方は、入試広報室までお問い合わせください

contents

- 「学校ボランティア活動」中間発表会より …… p. 2
- アウトキャンパス・スタディ …… p. 3
- 教職研究基礎ゼミナール 紹介 …… p. 4
- 教採対策講座等のお知らせ …… p. 4

【1年次実習】「学校ボランティア活動」中間発表会より

早期からの実習プログラム 第一歩

- <実習テーマ> 学校に慣れる 児童目線で活動する
 - <期間・時数> 10月～12月 毎週2時間ずつ10回
 - <活動協力校> 松本市9校 塩尻市2校 安曇野市2校 東筑摩2校
- 1年生にとって初めての小学校現場体験です。5回終了したところで大学内で中間発表会を行い、それぞれの活動の様子や課題について発表し合い、後半に向けてのめあてを持ちました。

山形村立山形小学校での活動の様子から



子どもたちの体力はすごい
全身全霊全力で遊びます



放課後の「山形っ子タイム」
地域の方々も一緒に遊びます



同じ目線で話しかけたら
たくさんお話してくれました



ノートやプリントの丸つけ
子どもたちは花丸が大好きです



特別支援学級での個別指導
たくさん工夫がありました

<感想・学んだこと>

- 切り替えの早い児童が多く授業がスムーズに進んでいて驚いた。
- 学年関係なく児童同士の仲がとても良かった。
- 特別支援学級の友だちが教室に戻った時、皆が自然に接している姿に感動した。
- 児童の短所を長所に転換することや、児童と同じ目線に立って会話するなど、児童との接し方を学べた。

<見えてきた課題>

- 大学生である自分から、先生としての活動への切り替えがうまくできていなかった。
- 児童との会話はできたが、担任の先生と十分に話せなかった。
- 運動するときなどの加減が難しく、やりすぎてしまうことがあった。
- 自分で考えて動くことができず、指示を待つことが多かった。

松本大学アンサンブル solae

第1回定期演奏会



昨年、歌が大好き、音楽が大好きな仲間が声をかけ合って同好会として発足し、今年度からは正式にクラブとなり活動してきました。

この度、第1回の定期演奏会を開催することができ大変嬉しく思います。また、会場の運営、準備をしていただいたスタッフの皆さま、ご指導いただいた先生方はもちろん、当日お忙しい中会場いっぱいにおいでいただいたすべての皆さま方に心より感謝申し上げます。

ここから歌声の輪を広げ、来年度は一層素敵な音楽を皆さまの心にお届けしたいと思います。お楽しみに…。(代表2年 中山 悠奈)

「学校ボランティア活動」

その他の活動例

- ・絵の掲示や取り外し
- ・来入児検診お手伝い
- ・公開研究授業の参観
- ・廊下等のワックスがけ
- ・落ち葉掃き(環境整備) 等

学生の受入れ
ご協力
ありがとうございます
ございます

新しい先生の紹介



御代田 桜子

教育制度論や学校経営などを担当します。学び・教育を支える制度・組織の視点から、これからの教育について考えていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

「アウトキャンパス・スタディ」

「アウトキャンパス・スタディ」は、キャンパスを飛び出して地域社会の現場で学ぶという松本大学で大事に考えている独自の授業形式であり、多くのカリキュラムで取り入れています。教育学部でも、学校現場での演習や実習以外に、下記のような教育関連施設等に積極的に出かけ、社会で真に必要とされる実践力を磨き、学びの質を高めています。

小宮保育園参観実習

多くの学生は小学校教員を目指しており、接続する保育園や幼稚園のことを知っておくことはとても重要です。毎年 基礎ゼミナールⅡの授業の一環として保育参観を取り入れています。これは、以前からお世話になっている三澤禧美子先生に計画から事前指導、当日はもちろん参観後のご指導までしていただき実現しています。今年も1年生全員が、松本市立小宮保育園を訪問し参観させていただきました。



【学生の感想から】

- 支援するところと、自立・自律させるところの線引きが勉強になりました。あまり口を出さないところから、子どもの持つ力を信じているのだろうと感じました。
- 保育園の先生方の一つひとつの指示に意図があり、就学に向けて一人で身支度できるようにしたり、道具の使い方を教えたり、時間を守り集団行動する中で人間関係を大切にできるようにしたり、体力をつけたりと色々な工夫をされていることを学びました。
- 小学校の教員になったら、保育士さんの努力を無駄にしないよう、1年生のサポートを考えていくことが重要になると感じました。



「社会科教材研究」長野市内・松本市内見学

2、3年生の「社会科教材研究」では、次の場所へ見学に行きました。

- ◆ 長野市内 … SBC本社・信濃毎日新聞本社・松代大本営跡
- ◆ 松本市内 … エフピコ松本選別センター・松本市歴史の里

この学修は、社会科見学を行う際、児童の目的意識をいかに高めるかをねらいの一つとしています。様々な地域の施設を社会科授業に活用し、実践力を高めさせることができました。



SBC本社 番組制作体験



松本市歴史の里

その他の地域連携活動 訪問先

- ・松本市歴史の里内 旧松本区裁判所 ・長野地方裁判所松本支部
- ・松本税務署 ・松本市教育文化センター ・窪田空穂記念館
- ・信州スカイパーク ・アルプス公園内 山と自然博物館
- ・花田養護学校 ・寿台養護学校 ・県立こども病院
- ・高遠城址公園 進徳館 ・伊那市創造館 他

地域の学校との交流

源池小学校2年生と一緒に

生活科の授業「のりもの遠足」で北新駅までやってきて「学生と交流しよう」と計画した源池小学校2年生。本学部では学生リーダー12名を中心に準備をし、40名の子どもたちとの楽しい交流が実現しました。名札作り、学食でランチ、午後の体育館ゲームでは、約40名の学生も加わり、ダイナミックに身体を動かして遊びました。学生も童心に戻って共に楽しみ、子どもの心を学ぶことができたひとときでした。



大学生と一緒にジャンケン列車